

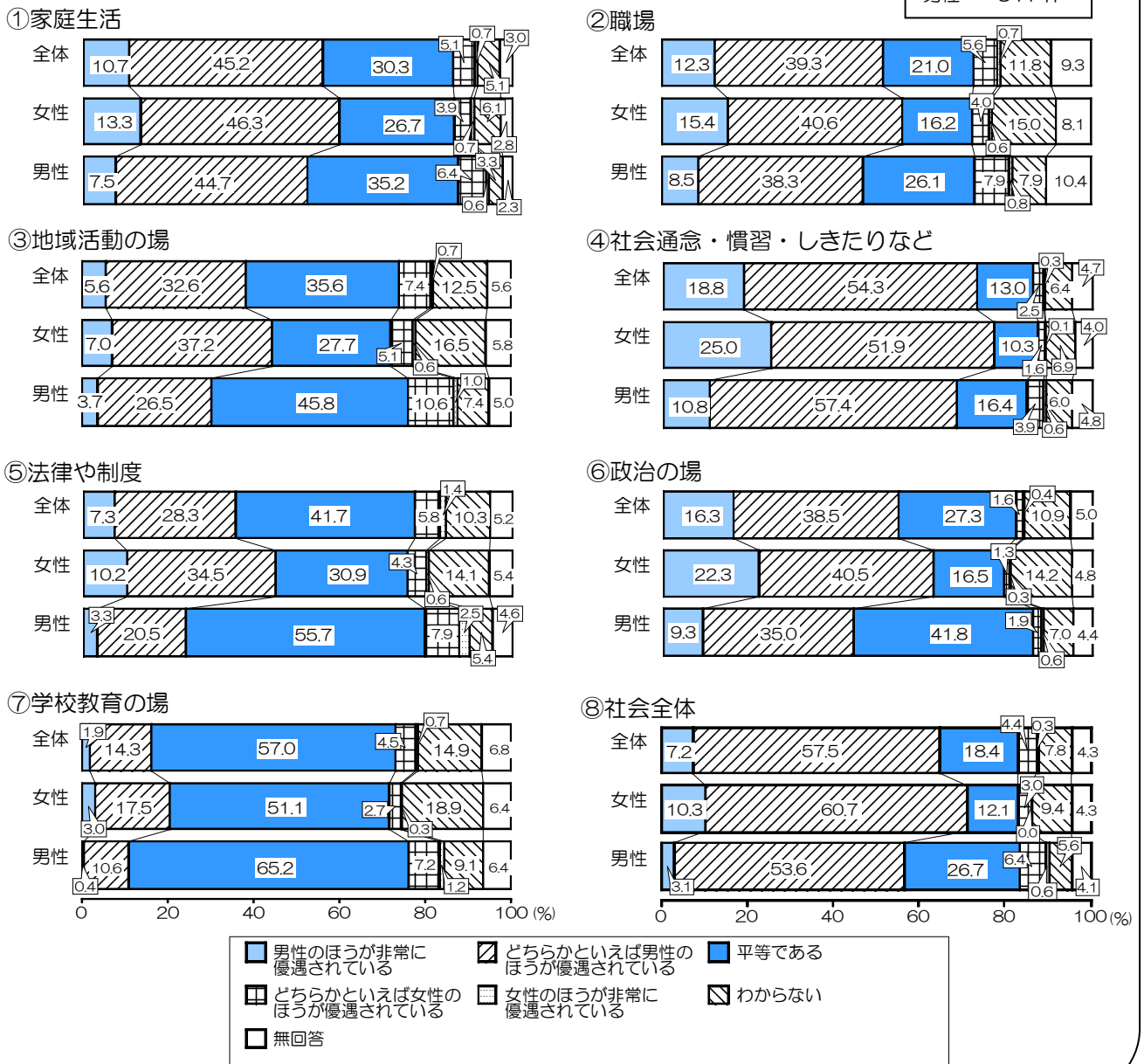
2 男女平等意識について

2-1 男女の地位の平等観

問6 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (①～⑧の項目それぞれについて、1つだけに○印)

図2-1 男女の地位の平等観

全体：1,225件
 女性：667件
 男性：517件



《ポイント》

- 「家庭生活」、「職場」、「社会通念・慣習・しきたりなど」、「政治の場」、「社会全体」で『男性優遇』と感じている傾向が強い。
- 『男性優遇』と感じているのは女性の方が割合は高く、「法律や制度」、「政治の場」等でその傾向は強い。

○女性で、『男性優遇』と感じているのは「法律や制度」、「政治の場」、「社会全体」で若年層ほど高く、その他の項目の多くでは30～50歳代を中心に高くなっている。(図2-1-1)

○男性では、「職場」、「法律や制度」、「政治の場」で40歳代の人々が平等だと感じている割合が高い。(図2-1-1)

男女の地位の平等観について、「①家庭生活」では、全体で『男性優遇』（「男性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」を合わせたもの）の意見が55.9%と半数を超え、『女性優遇』（「女性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」を合わせたもの）という意見の5.8%を大きく上回っている。性別にみると、『男性優遇』は女性の方が7.4ポイント高く、「平等である」は男性の方が8.5ポイント高くなっている。

「②職場」では、全体で『男性優遇』が51.6%とほぼ半数であるのに対し、『女性優遇』は6.3%と1割に満たない。また、「平等である」と回答した人も21.0%にとどまっている。性別にみると、『男性優遇』は女性の方が56.0%と高く男女差は9.2ポイントとなっている。

「③地域活動の場」では、全体で『男性優遇』が38.2%で、「平等である」の35.6%と近くなっている。性別にみると、『男性優遇』は44.2%と女性の方が14.0ポイント高く、「平等である」では男性の方が18.1ポイントも高くなっている。

「④社会通念・慣習・しきたりなど」では、全体で『男性優遇』が73.1%と高く、「平等である」(13.0%)や、『女性優遇』(2.8%)を大きく上回っている。性別にみると、『男性優遇』は女性の方が8.7ポイント高くなっているが、「男性のほうが非常に優遇されている」では14.2ポイントも女性の方が高く、男女差は更に広がっている。

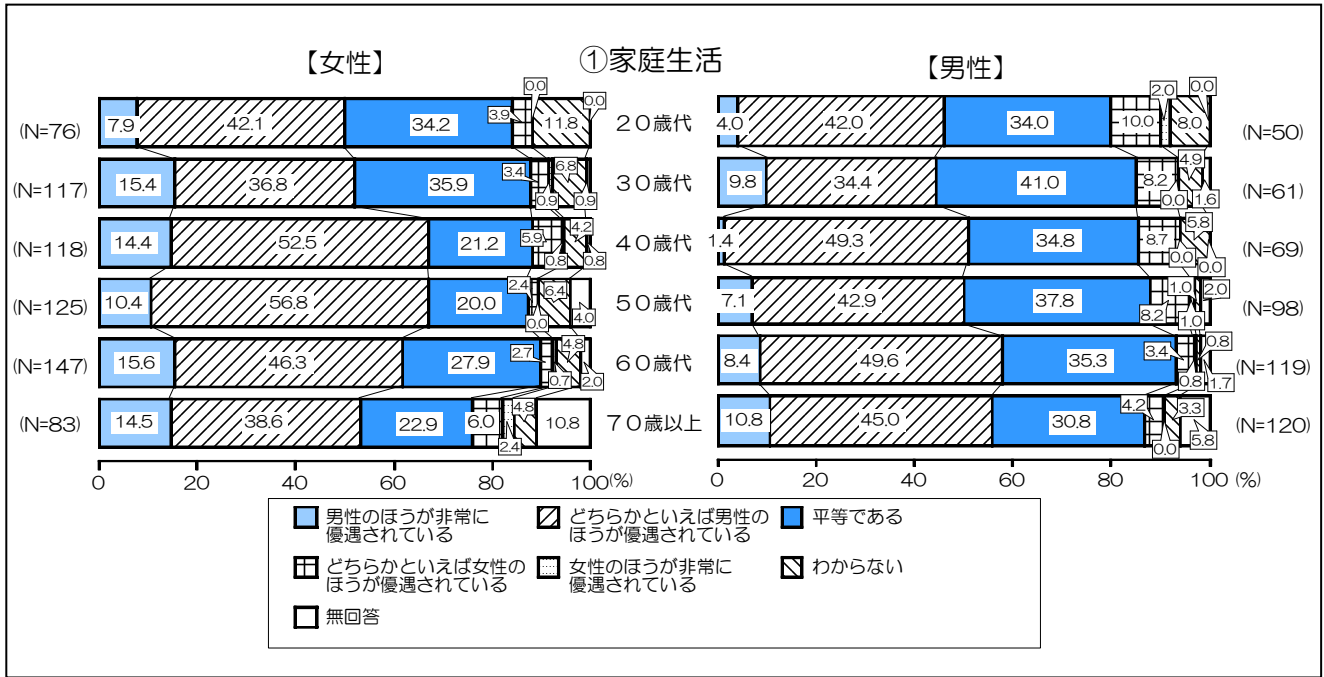
「⑤法律や制度」では、全体で「平等である」が41.7%と高く、『男性優遇』の35.6%を上回っている。性別にみると、『男性優遇』では20.9ポイント女性が高く、「平等である」では24.8ポイント男性が高く、男女差が大きくなっている。

「⑥政治の場」では、全体で『男性優遇』が54.8%と半数を超えているが、『女性優遇』は2.0%にとどまっており、「平等である」も27.3%と低くなっている。性別にみると、『男性優遇』は18.5ポイント女性が高く、「平等である」は25.3ポイント男性が高く、男女差が大きくなっている。

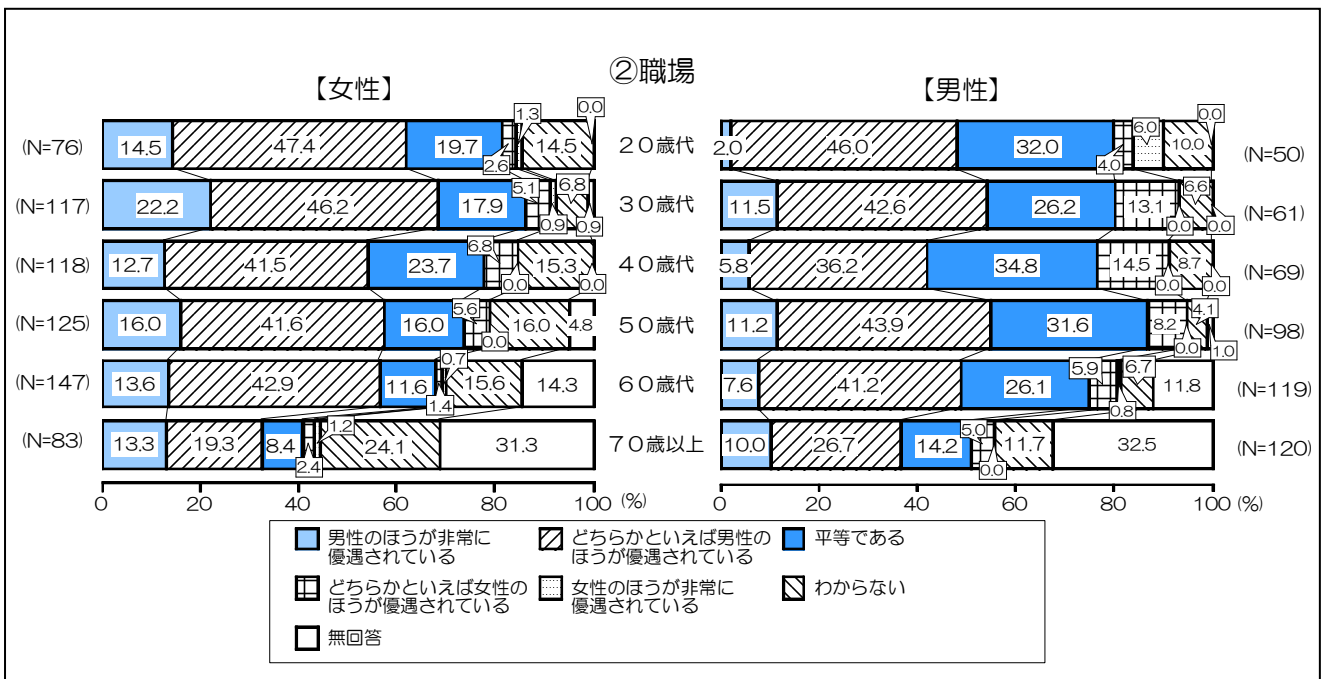
「⑦学校教育の場」では、全体で「平等である」が57.0%と半数を超えている。それとともに、『男性優遇』が16.2%、『女性優遇』は5.2%にとどまっている。性別にみると、「平等である」は男性で65.2%と高く、男女差は14.1ポイントとなっている。

「⑧社会全体」では、全体で『男性優遇』が64.7%と高く、特に、「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」が57.5%と半数を超えている。「平等である」は18.4%にとどまっている。性別にみると、『男性優遇』は女性で71.0%と高く、男女差は14.3ポイントとなっている。(図2-1)

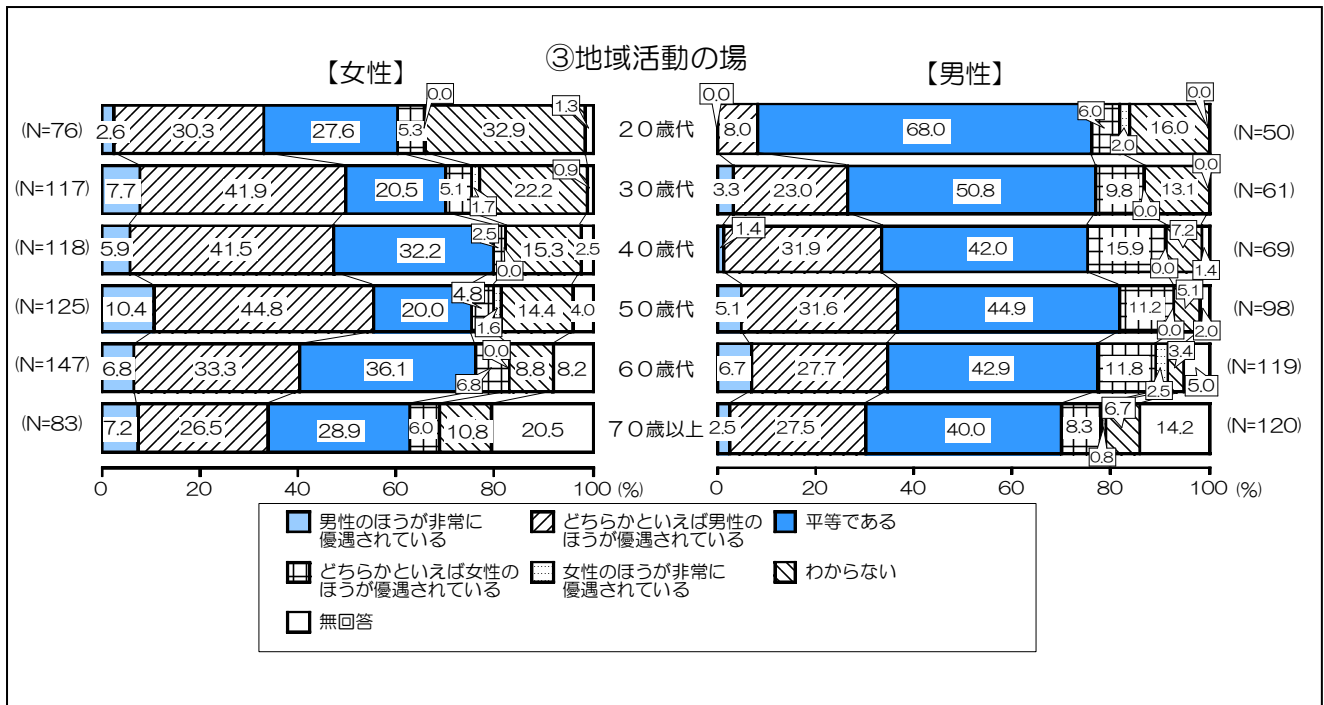
図2-1-1 性年齢別 男女の地位の平等観



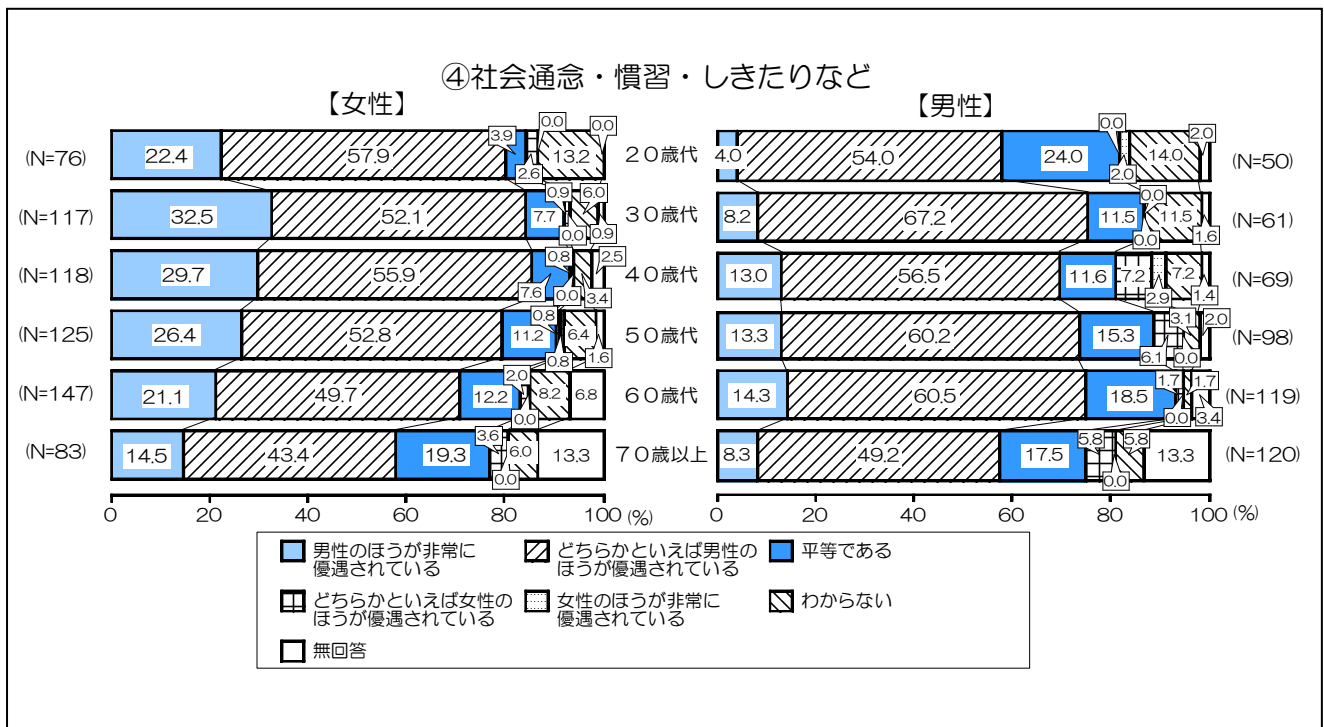
「①家庭生活」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合が高いのは、女性の50歳代で67.2%、女性の40歳代で66.9%、男性では高齢層で高くなっている。「平等である」は男性の30歳代で41.0%と最も高く、女性では20～30歳代で高く3割以上となっている。



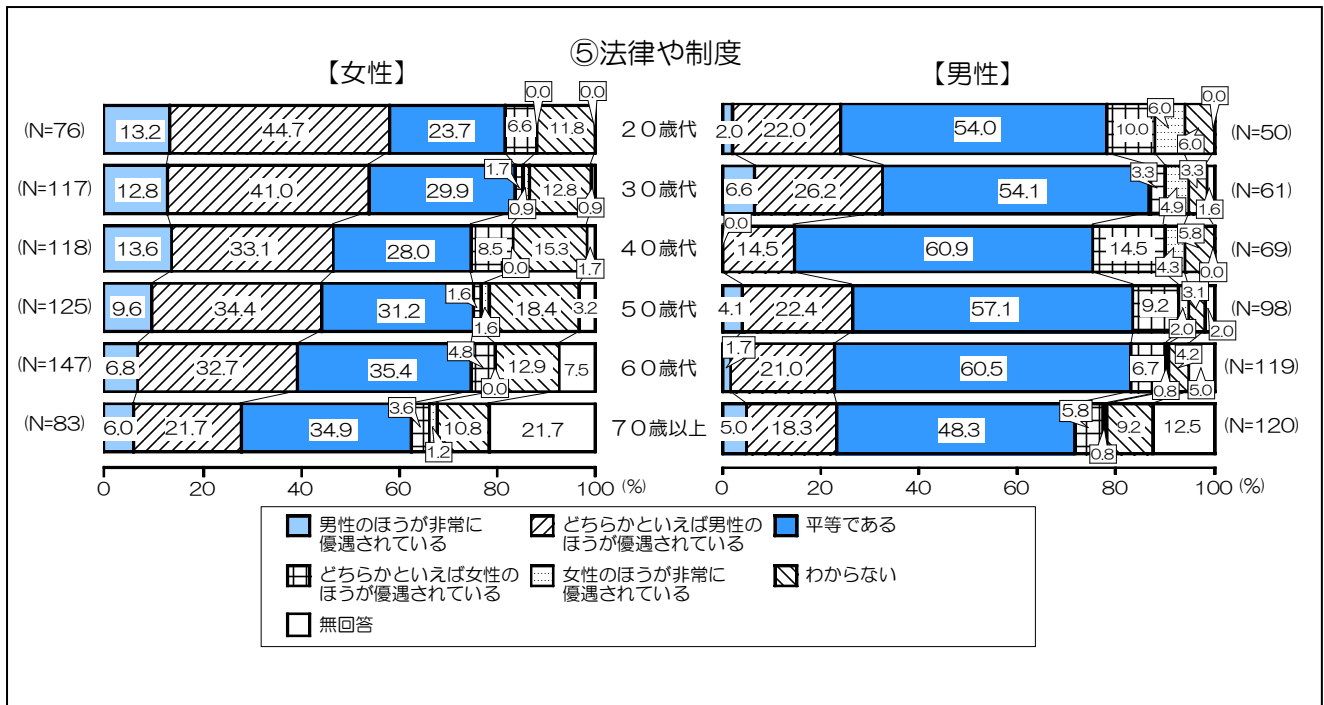
「②職場」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合が高いのは、女性の30歳代が68.4%と最も高く、男性では30歳代、50歳代で半数以上と高くなっている。「平等である」は男性の40歳代が34.8%と最も高く、女性では40歳代で最も高くなっている。



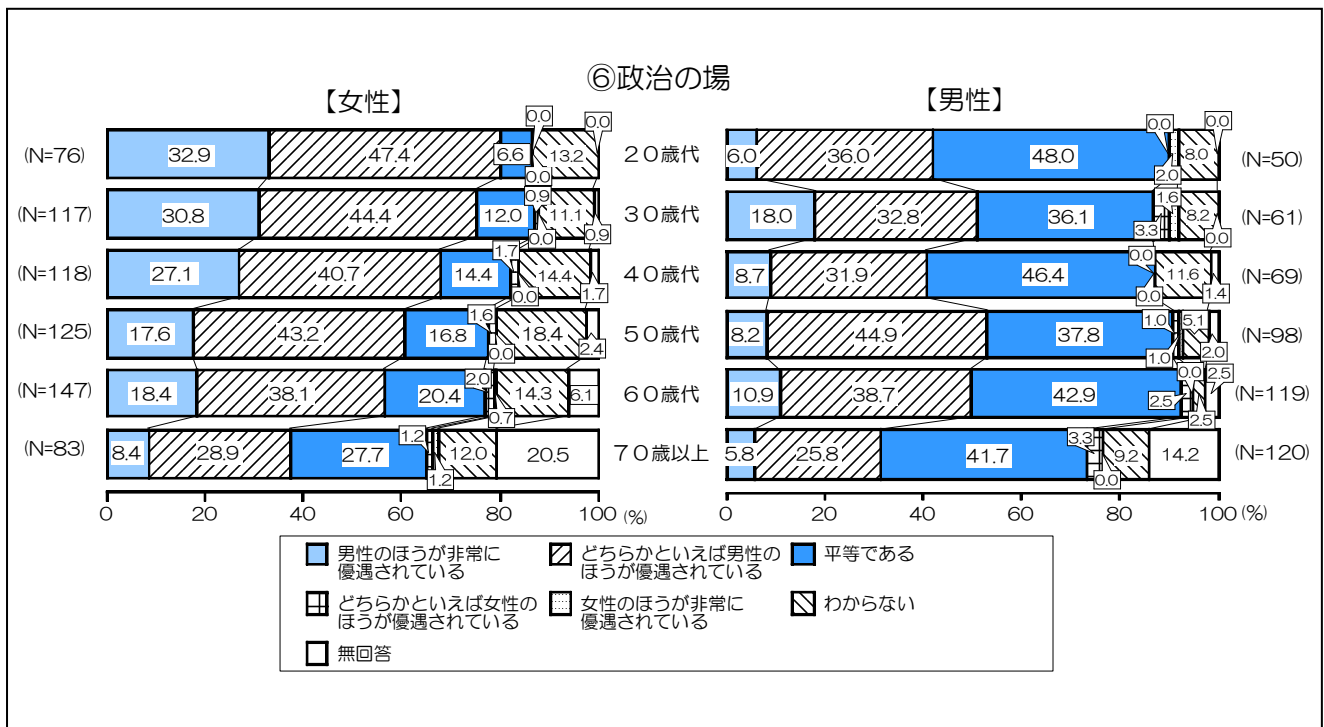
「③地域活動の場」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合が高いのは、男女とも50歳代で、女性は55.2%、男性は36.7%となっている。「平等である」は男性の若年層で高く、20歳代では68.0%となっている。女性では、60歳代で最も高く36.1%、一方、30歳代、50歳代では低く、ともに2割ほどにとどまっている。



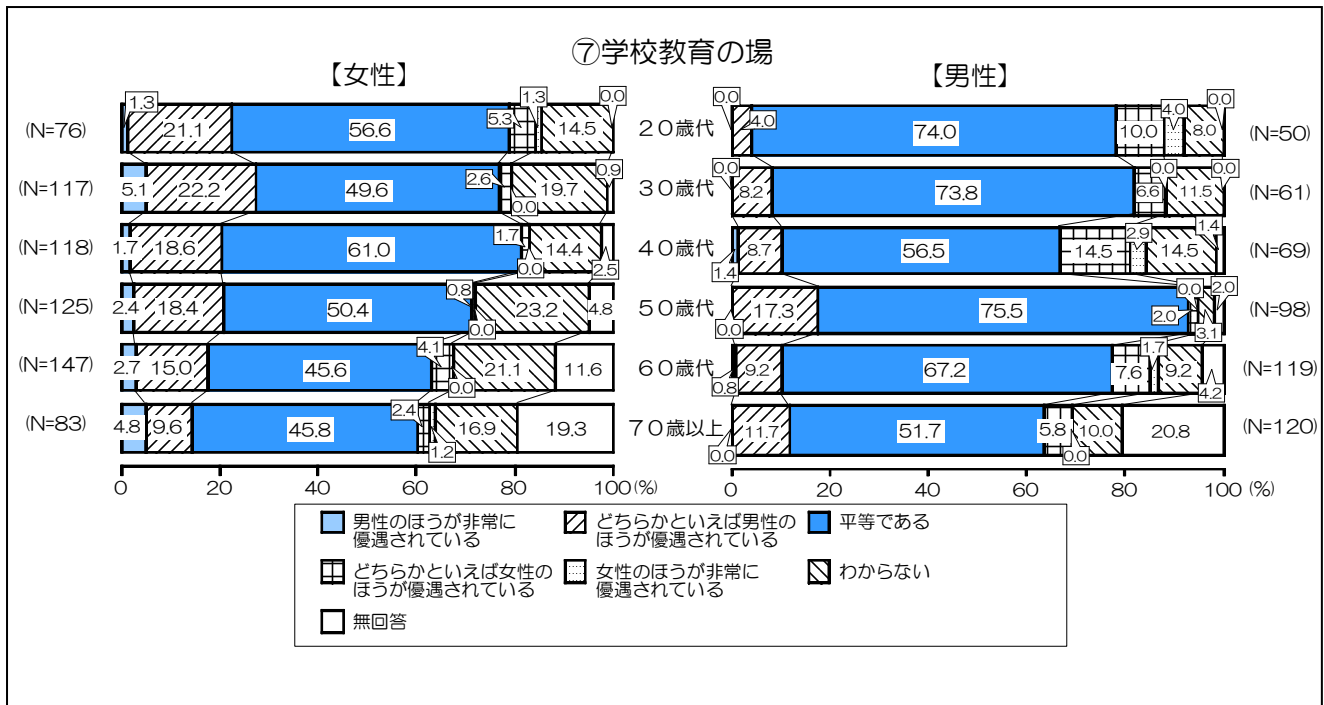
「④社会通念・慣習・しきたりなど」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合が最も高いのは、女性の40歳代で85.6%と最も高く、女性の30歳代でも84.6%となっている。男性では30歳代、50～60歳代で高く、7割を超えている。一方、男女とも70歳以上では『男性優遇』の割合が低く5割台にとどまっている。「平等である」は男性の20歳代で24.0%と最も高くなっている。



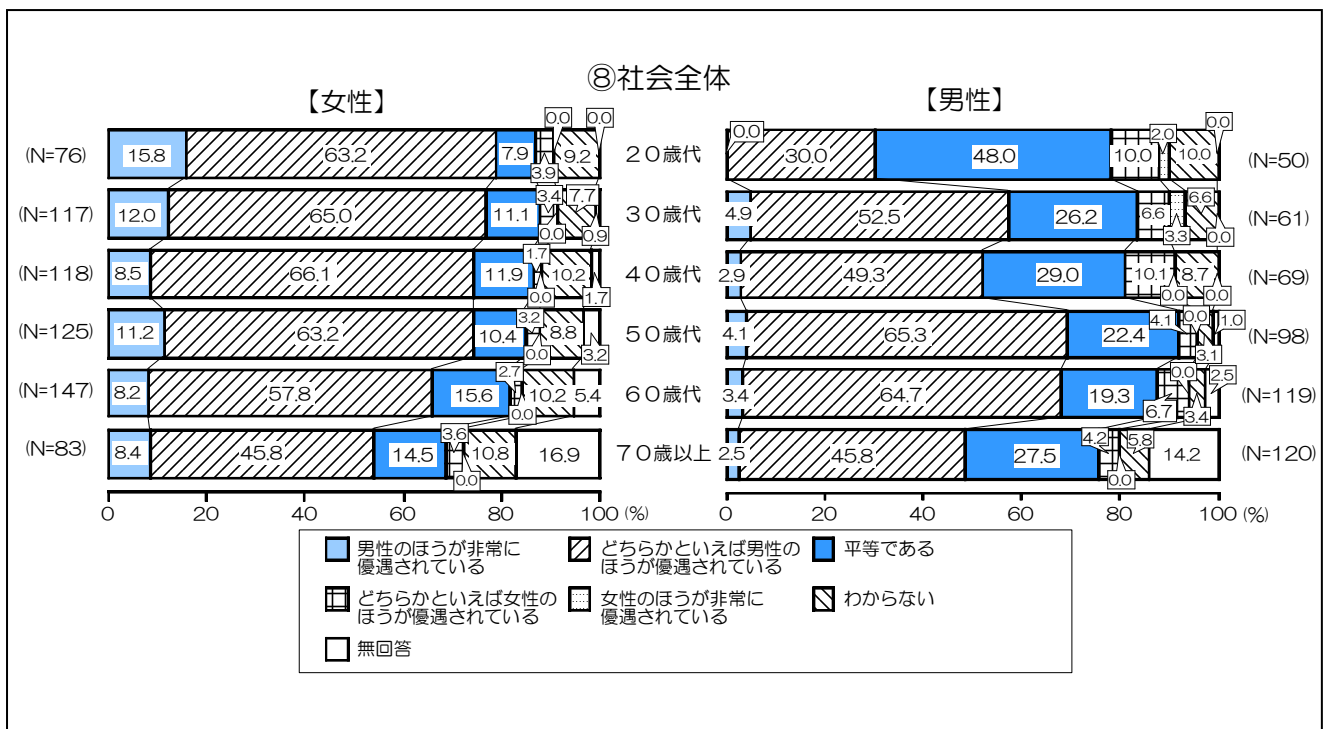
「⑤法律や制度」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合が最も高いのは、女性の20歳代で、年代が上がるほど、割合は低くなっている。男性では、『男性優遇』は30歳代で最も高く32.8%、40歳代で最も低く14.5%となっている。「平等である」は40歳代で男女差が大きく、男性で60.9%、女性で28.0%と32.9ポイント男性が高くなっている。



「⑥政治の場」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合が最も高いのは、女性の20歳代で80.3%、以下、年代が上がるほど割合は低くなり、70歳以上では37.3%となっている。男性では『男性優遇』は20歳代、40歳代、70歳以上で低く、「平等である」と回答した人の方が高くなっている。

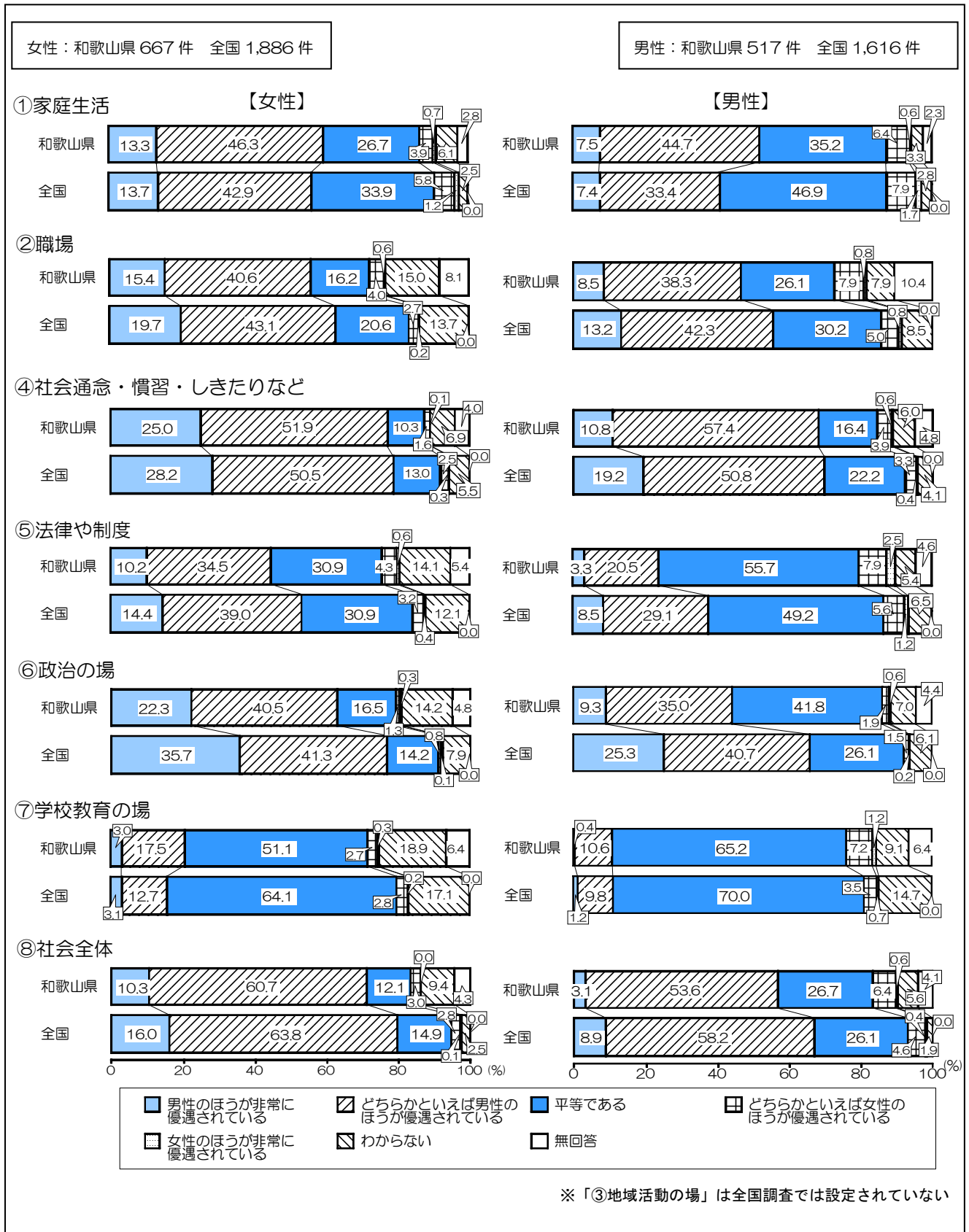


「⑦学校教育の場」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合は、27.3%と最も高い女性の30歳代を中心に女性の若年層で高くなっている。男性では『男性優遇』は50歳代で17.3%と高くなっているが、同時に「平等である」という人も75.5%で最も高くなっている。『女性優遇』は男性の40歳代で最も高く、17.4%となっている。



「⑧社会全体」を性年齢別にみると、『男性優遇』の割合は、最も高い女性の20歳代(79.0%)を中心に女性の若年層で高く、年代が上がるほど割合は低くなり、70歳以上では54.2%となっている。男性では『男性優遇』は50~60歳代で約7割と高くなっている。20歳代では30.0%と低く、「平等である」が48.0%と他の年代に比べ最も高くなっている。

図2-1-2 全国調査比較 男女の地位の平等観



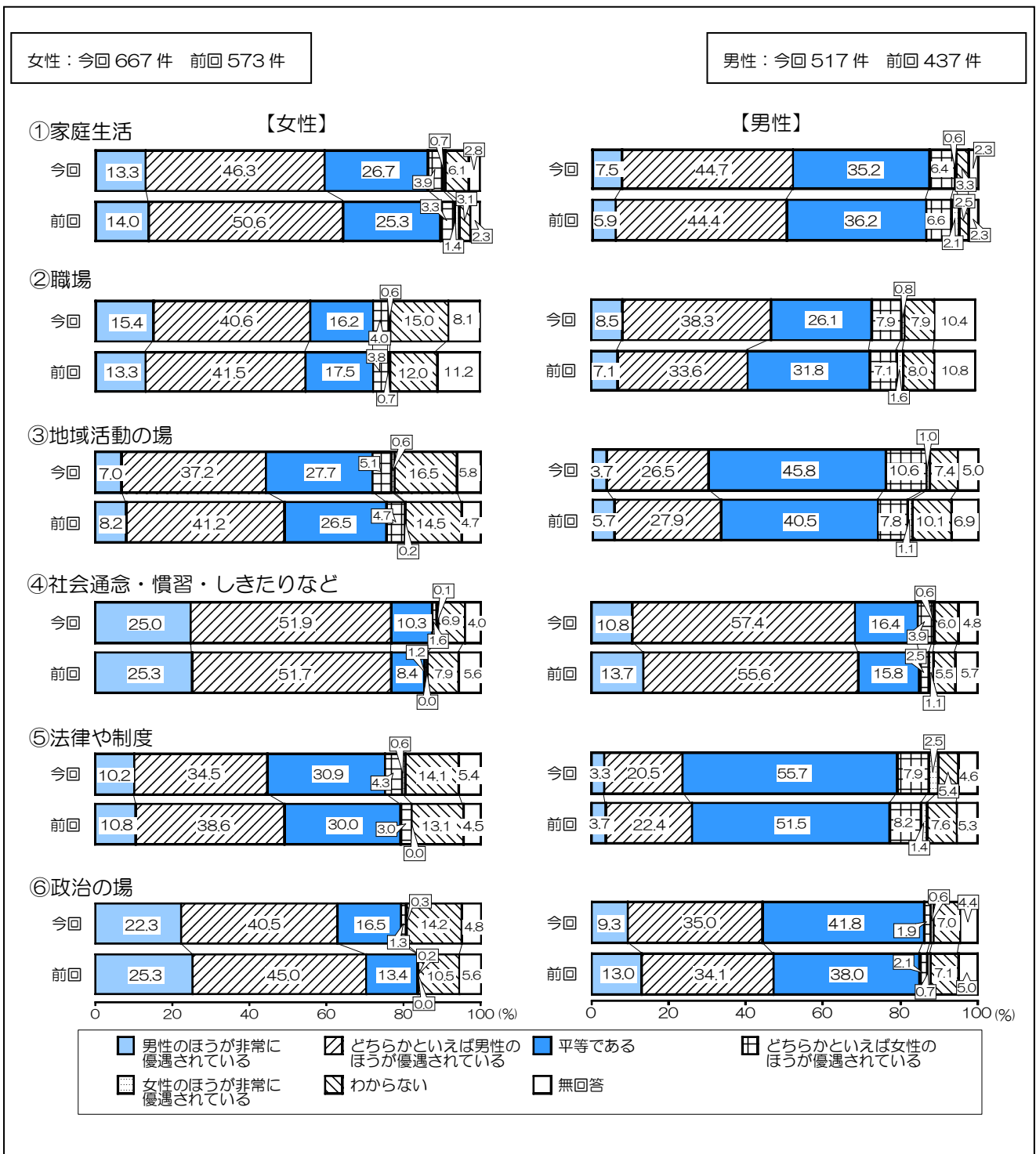
《ポイント》

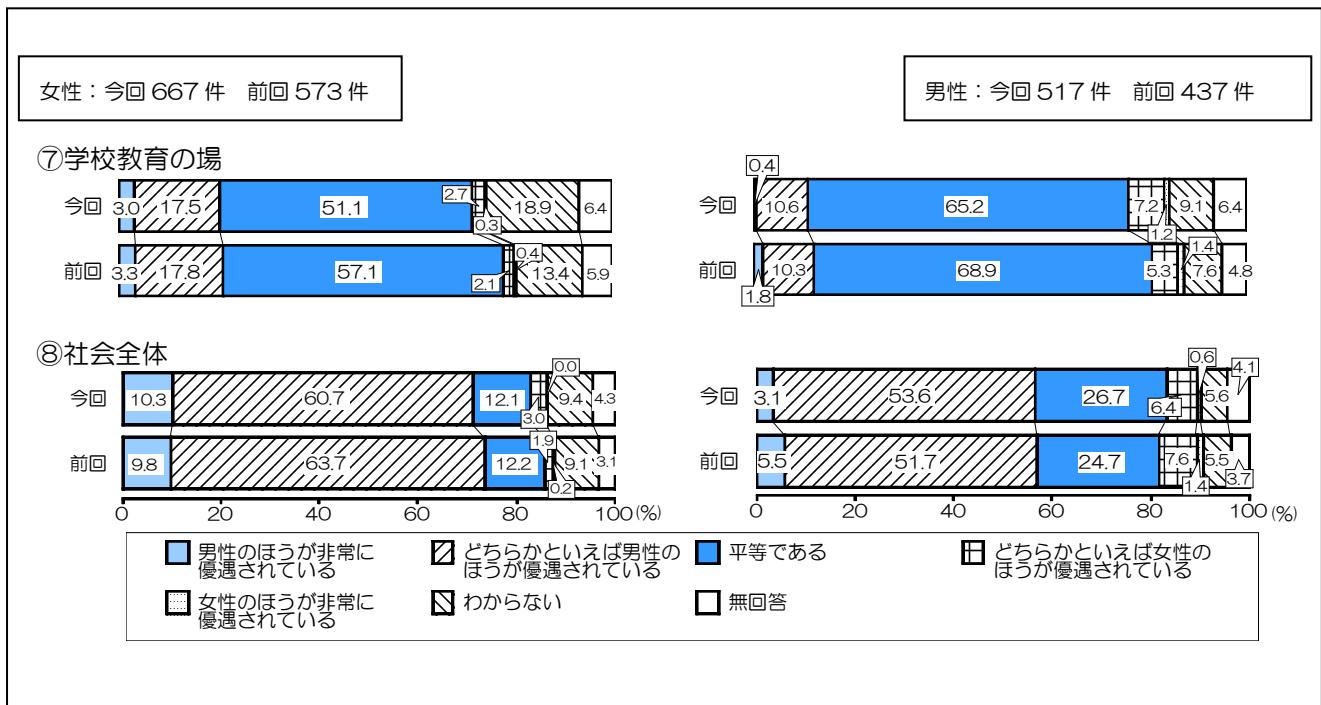
- 「政治の場」、「法律や制度」、「職場」等で『男性優遇』と感じている人の割合は、全国に比べて低く、「家庭生活」では高い傾向にある。
- 男性は「法律や制度」、「政治の場」等で全国に比べて平等観は高い。

○男女とも「学校教育の場」、「家庭生活」、「職場」等で全国に比べて平等観は低い。

全国調査と比較すると、ほとんどの項目で『男性優遇』の割合は和歌山県の方が低くなっている。差の大きいものとしては、「⑥政治の場」で女性は14.2ポイント、男性は21.7ポイント、それぞれ下回っている。逆に、「①家庭生活」、「⑦学校教育の場」では和歌山県の方が『男性優遇』の傾向が強く、①で男性が11.4ポイント、⑦で女性が4.7ポイント高くなっている。(図2-1-2)

図2-1-3 前回調査比較 男女の地位の平等観





《ポイント》

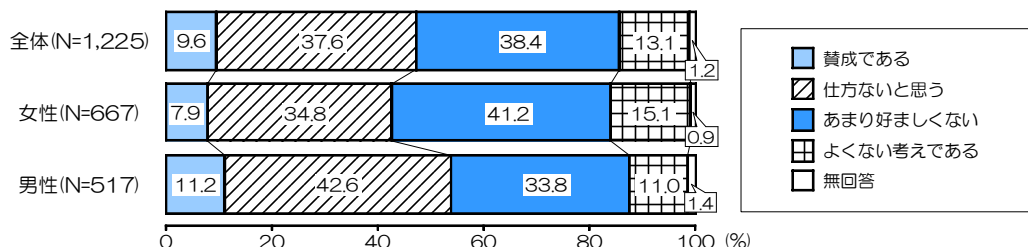
- 男性は「家庭生活」、「職場」等で前回調査に比べて『男性優遇』の割合は増加している。
- 女性の平等観は前回調査に比べて増加傾向にあるが、「職場」、「学校教育の場」では減少している。

前回調査と比較すると、「①家庭生活」で『男性優遇』の割合は、女性では前回調査よりも 5.0 ポイント低くなったのに対し、男性では前回調査よりも 1.9 ポイント高くなっている。「平等である」は「②職場」の男性で 5.7 ポイント、「⑦学校教育の場」の女性で 6.0 ポイント低くなっている。逆に、「③地域活動の場」で男性は、5.3 ポイント前回調査よりも高くなっている。全体的に前回調査と今回調査について大きな変化は見られなかった。(図 2-1-3)

2-2 男女の決められた役割分担についての考え

問7 「男は仕事、女は家庭」に代表されるように、性別によって男女の役割を決めるような考え方についてどのように思いますか。（1つだけに○印）

図2-2 男女の決められた役割分担についての考え



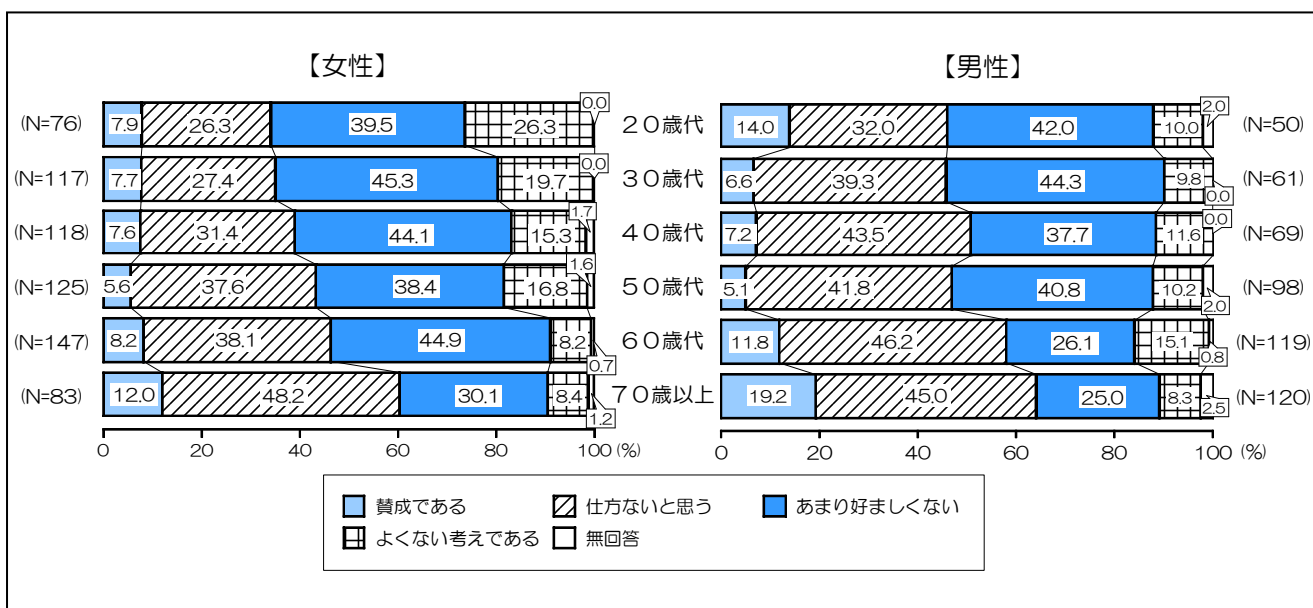
《ポイント》

○性別役割分担について、女性は否定的な意見が半数以上だが、男性は肯定的な意見が半数以上となっている。

男女の決められた役割分担についての考えについて、全体では「あまり好ましくない」という意見が38.4%と最も高く、「よくない考えである」という意見の13.1%を合わせると、否定的な意見は51.5%と半数を超えている。

性別にみると、女性では「あまり好ましくない」と「よくない考えである」がともに男性よりも高く、女性の方がより否定的な考えであることがうかがえる。男性は「仕方ないと思う」が42.6%と高く、「あまり好ましくない」(33.8%)を上回っている。(図2-2)

図2-2-1 性年齢別 男女の決められた役割分担についての考え



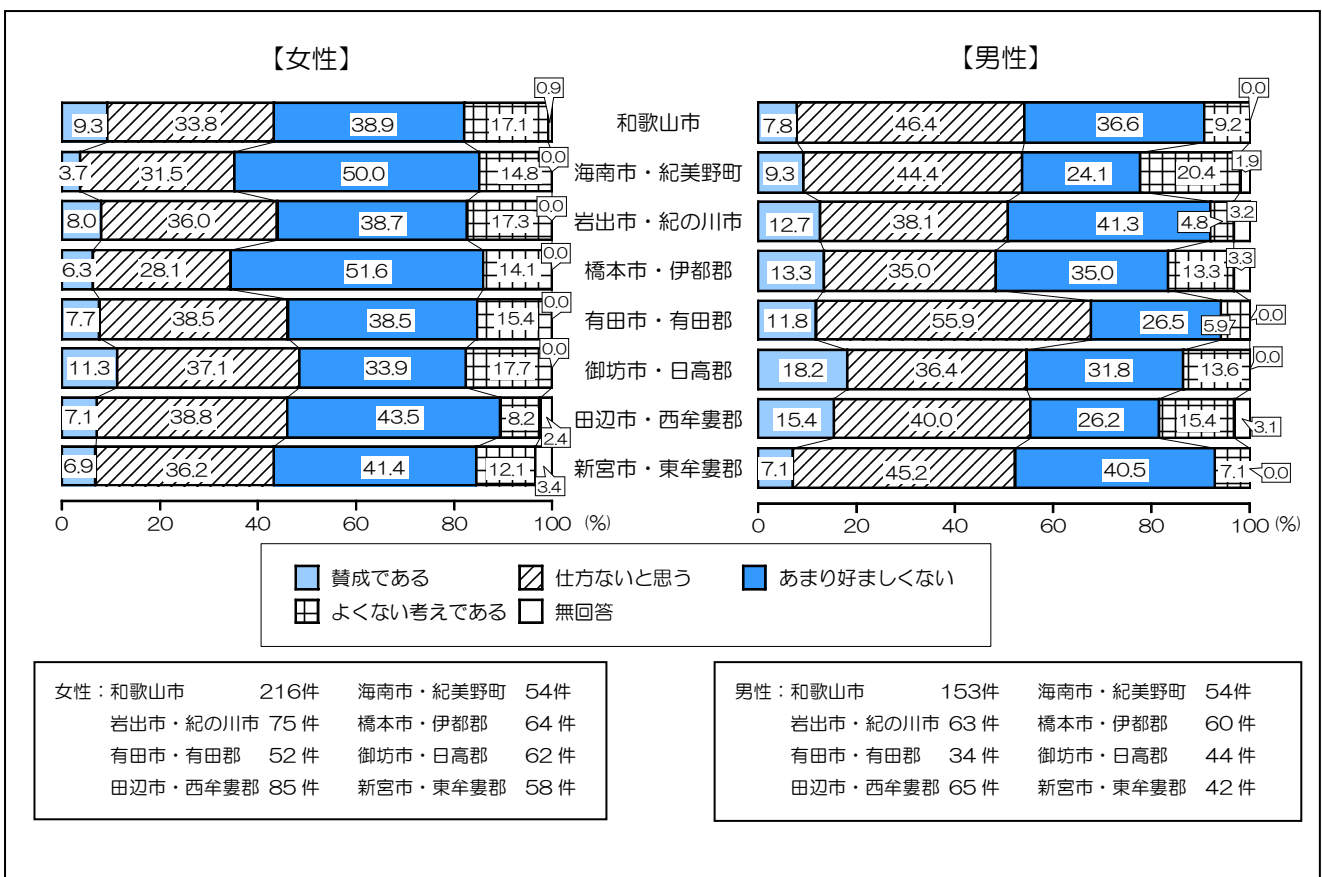
《ポイント》

○性別役割分担について、男女ともに、肯定的な意見の割合は年代が上がるほど高くなる。

○女性では20歳代、男性では30歳代で否定的な意見の割合は最も高い。

性年齢別にみると、女性で肯定的な考えの人は、年齢層が上がるほど割合は高くなり、「仕方ない」と回答した人は、70歳以上では48.2%とほぼ半数となっている。否定的な考えの人は、70歳以上を除く全ての年代で半数以上となっており、特に、「よくない考えである」と回答した人の割合は若年層ほど高くなっている。男性で肯定的な考えの人は、年齢層が上がるほど高くなり、50歳代以下の年代では、40歳代を除いて、否定的な考えの人の方が多くなっている。(図2-2-1)

図2-2-2 居住地域別 男女の決められた役割分担についての考え



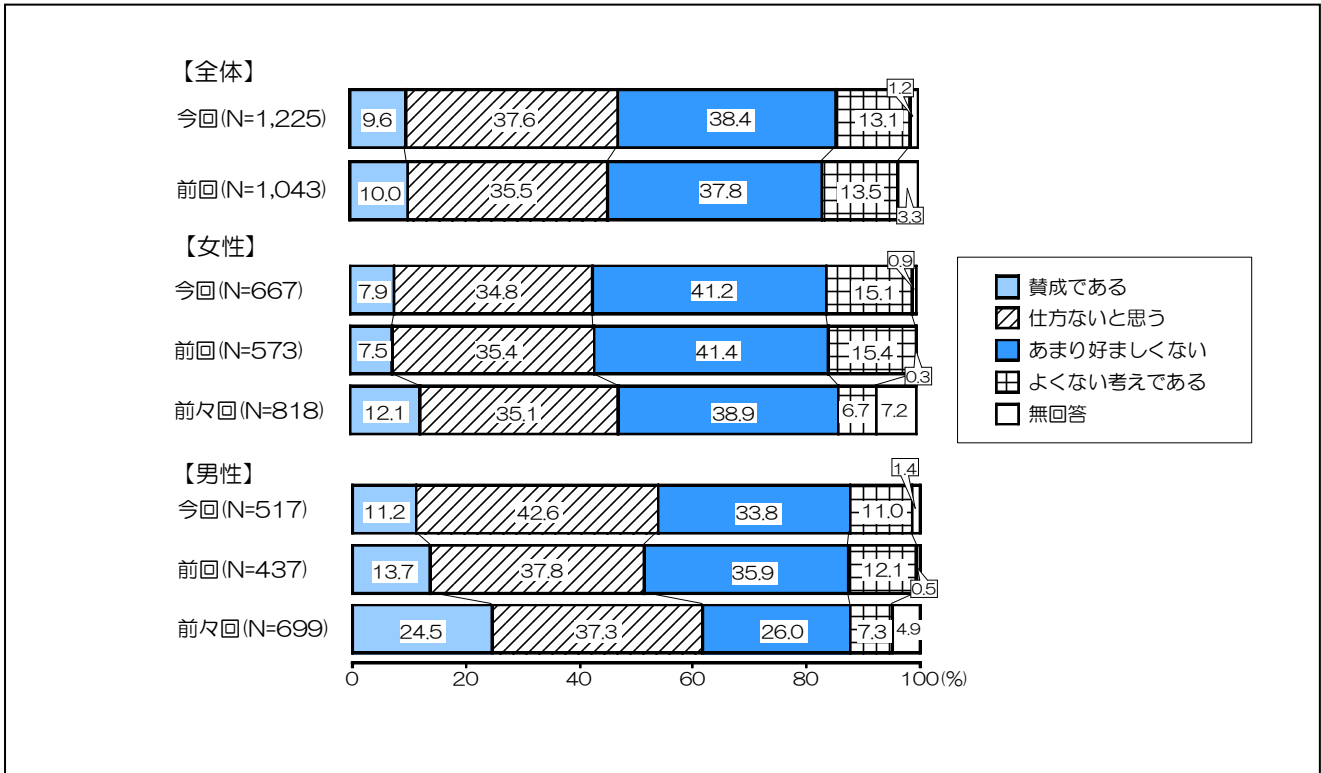
《ポイント》

○男女ともに、否定的な意見の割合は「橋本市・伊都郡」で最も高い。

○肯定的な意見の割合は「有田市・有田郡」の男性で最も高い。

居住地域別にみると、否定的な人の割合が最も高かったのは、女性では「橋本市・伊都郡」65.7%、次いで、「海南市・紀美野町」で64.8%と高く、男性では、「橋本市・伊都郡」で48.3%、次いで、「新宮市・東牟婁郡」で47.6%となっている。肯定的な人の割合が最も高いのは「有田市・有田郡」の男性で67.7%となっている。(図2-2-2)

図2-2-3 前回調査比較 男女の決められた役割分担についての考え



《ポイント》

- 前回調査に比べ、全体では肯定的な意見が若干増加している。
- 男性は前回調査に比べ、肯定的な意見が増加し、否定的な意見が減少している。

前回調査と比較すると、全体では肯定的な意見は、僅かに増加している。女性は、僅かながら肯定的な意見が減少してきている。男性では、肯定的な考えの割合が前回調査よりも若干高くなっているが、「賛成である」と回答した人は前々回、前回調査と減少してきている。(図2-2-3)